――画像符号化・映像メディア処理小特集（英文論文誌 D）投稿募集――

画像符号化・映像メディア処理小特集編集委員会

英文論文誌 D では，2017 年度 9 月号より画像符号化・映像メディア処理に関する小特集を企画しています．本年も論文及びレターの両方を募集する形で画像符号化・映像メディア処理小特集を 2023 年 10 月号に企画致しました．

近年の画像符号化の分野では，深層学習などの新たな符号化予測ツールを取り入れた方式も提案されており，既存の動画像符号化方式を超える新たな技術の登場が待ち望まれています．また，最新の動画像符号化方式 VVC が 2020 年に国際標準となりました．将来においては，地上波における 4K・8K 放送が検討されていることもあり，更なる符号化効率の改善と実用化が期待されています．

映像メディア処理の分野では，深層学習などを用いた映像処理の研究が盛んに行われています．そして 4K・8K 高精細映像や HDR 映像などの 2 次元映像のほか，メタバースに関連した 360 度／3 次元映像や光線空間（Light Field）などの技術も注目されています．ほかにも，顔認識や行動解析技術などの映像分析技術がセキュリティ分野や広告分野などにおいて益々重要度を上げており，物体認識技術や空間把握技術などが交通事故の減少や自動運転の実現に向けて活発に研究開発されています．

本小特集ではこのような画像符号化・映像メディア処理に関連する分野の論文及びレターについて，広く募集致します．PCSJ2022/IMPS2022 などで発表された研究，着想段階の研究アイデアも含めて，多くの方からの積極的な御投稿を御待ちしております．

1. 対象分野

■画像符号化分野

符号化基礎，標準方式関連技術，動き推定／動き補償，予測／直交変換／フィルタ，量子化／エントロピー符号化，領域分割／特徴抽出，3D 画像符号化，符号化制御／符号量制御，配信（固定網・モバイル網），画質評価，その他（新しい符号化等）

■映像メディア処理分野

映像処理基礎，色彩／分光／色空間，画像認識／解析，画像復元／超解像／高精細（4K/8K）画像，3D 画像技術／処理，撮像処理／表示処理，映像生成，HCI/拡張現実／人工現実，電子透かし／情報付加，映像処理応用／実装技術，その他（DB，センサ，ITS 等）

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします．ページ数は，原則として，論文の場合は刷り上がり 8 ページ，レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします．初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです．標準ページ数を超えると，掲載料が急に高くなりますので御注意下さい．詳細は Information for Authors（https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html）を御参照下さい．査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります．

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます．https://review.ieice.org/regist/ regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい．初期投稿時に，編集可能な論文本体（TeX/Word），図，著者の写真，biography も投稿する必要があります．なお登録時には必ず“Journal/Section”で［Special-PC］Picture Coding and Image Media Processing を選択して下さい．［Regular-ED］を決して選択しないで下さい．

Web による電子投稿の際，“Copyright Transfer, Article Processing Charge Agreement, and Notices from the IEICE, and Privacy Policy”に承諾して頂きます．

4. 各種締切

投稿締切：　2023 年 1 月　6 日（金）23：59 厳守

第 1 回判定通知：　2023 年 2 月 22 日（水）を予定

最終判定通知：　2023 年 5 月 25 日（木）を予定

※最終判定通知期限に関わらず，修正稿受領後 4 週間以内を目安に最終判定を通知予定．

小特集発行：　2023 年 10 月 1 日（日）

5. 問合せ先

海野恭平　KDDI 総合研究所

TEL〔070〕3508-5626

E-mail：ie-special-kanji［at］mail.ieice.org

［at］は @ に読み替えて下さい（スパムメール対策）

6. 小特集編集委員会（和文誌・英文誌で共通）

委員長　松田一朗（東京理科大）

幹　事　岩村俊輔（NHK），海野恭平（KDDI 総合研究所），久保田彰（中大），高橋桂太（名大）

委　員　雨車和憲（工学院大），金井謙治（早大），亀田裕介（上智大），河村　圭（KDDI 総合研究所），黒木祥光（久留米高専），佐藤拓杜（日立），篠田一馬（宇都宮大），中條　健（シャープ），峯澤　彰（三菱電機），宮田高道（千葉工大），茂木厚憲（富士通研）

7. 付記

※締切日を厳守して下さい．

※すべての著者は，論文が採録となった場合，2023 年 6 月頃に掲載料をお支払い頂くことになります．2023 年 7 月 15 日までに支払いが完了しない場合には，採録取り消しとなります．

※投稿者に非会員が含まれている場合には，この機会に入会することを勧めます．著者全員が非会員の場合，非会員掲載料が適用されます．ただし，招待論文に関してはこの限りではありません．入会の案内はこちらを御覧下さい．

https://www.ieice.org/jpn_r/member/join.html

※オープン化：2017 年 1 月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌 D のすべての論文を，J-STAGE を通じて全世界の読者へ公開しています．

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/transinf